

時期	研修名	目的	内容
3月末(3日間)	採用前オリエンテーション	病院という職場に早く適応できる	接遇(マナー、電話応対、身だしなみ等) 看護過程と記録(入院病歴の取り扱い、データベースの聴取、全体像把握、看護目標立案など) 感染予防と清潔操作(手洗い、清潔・不潔の区別、セッシン・綿球・ガゼの取り扱い) 看護の安全性と事故防止(医療事故防止の基本的考え方、安全行動への基本的ルール、内服・点滴与薬の手順)
4月初旬	新採用者オリエンテーション	病院の職員・看護局の一員としての心構えを形成するとともに、基本的な看護技術を習得する	病院の医療理念と基本方針 病院の概要と院内組織について 就業規則 評価制度 個人情報保護 院内感染対策、医療安全対策 災害時の対応 接遇 人権 移動技術(ボディメカニクス、体位変換、車椅子・ストレッチャーへの移動) ME機器の操作(輸液ポンプ、シリンジポンプ、吸入器の扱い) 吸引(口鼻腔、気管内) 導尿(導尿、膀胱カテーテルキットの取り扱い) 採血・点滴静脈内注射(誤刺・誤薬防止手順)
6月	感染対策研修	標準予防策に基づいた感染対策の知識技術を身に付ける	感染対策の基礎知識 標準予防策の理解 正しい手洗いの方法と手指消毒の理解、実践 職業感染予防 誤刺予防の行動
	看護過程と記録(1回目)	POS記録のステップアップのために思考を整理する	事例を通して問題抽出過程を学ぶ データベースから対象の全体像を整理する 全体像からまるごと人間を捉え看護目標を具体的にイメージする 患者個人に適した看護目標を記述する
7月	看護サービス向上	看護サービスの質の向上をはかる	日常ケアポイント100の“患者さんの世話”の理解 自身の日常ケアを評価 それぞれの患者の状態や希望に合わせた援助 看護師としての正しい服装・身だしなみ 親切・にこやか、待たせない対応 騒音が患者に与える影響と防止策
8月	技術フォローアップ	患者の病態や状況に合わせた看護技術を提供する	誤薬を防止するための対策(3回確認)を実施 患者にあった必要物品を選択 患者によってわかりやすい説明ができ、同意を得る 清潔に留意し患者に合った点滴の実施・観察 患者にあった採血 セーフティーナの安全な使用
9月	メンタルヘルスケア	メンタルヘルスケアについて理解し、ストレス対処の基礎を築く	メンタルヘルスケアの必要性 ストレスの原因となりやすい状況 ストレスを受けた時に解決できる為の対処方法 困ったことや悩み事など自身の思いを語ること、他者の意見を聞くことで自身を客観的に理解する
10月	看護過程と記録(2回目)	自身が行った看護行動を記録に残す	患者とのかかわりを通して自身の行動を記録する 自身が記録した内容が次勤務者へ引き継がれ継続した看護を提供する 他者の記録を読み取る
1月	看護過程と記録(3回目)	看護目標に向かって看護が展開できたかサマリーを記録する	サマリーを書く上での基本 自分の行った看護で継続していく内容を紙面を通して伝達する Plan Do See という流れのわかる文章表現 サマリーを受ける立場に立つことでサマリーのポイントをつかむ ケーススタディ